

防災機能強化における進捗状況

1. 防災道の駅「朝霧高原」における防災機能強化の各進捗状況

- 令和4年3月に強化方策(案)をとりまとめ
- 広域防災拠点として不足・対応が必要な機能、設備(表①から④)において、検討・基本設計に着手し対応中。

広域的な防災拠点としての施設機能・体制の評価

必要機能・体制		評価	対応
施設(ハード)	耐震化	○	
	無停電化	発電量の増強、72時間対応が必要	④
	通信設備	○	
	貯水タンク(給水施設)	○ →検証の結果、現況量で充足を確認	
	防災トイレ	○	
	ヘリポート	○	
	防災倉庫(会議室等)	道の駅利用者用に3日分の物資を保管する備蓄倉庫が必要 現地での対策本部となる会議室が必要	①
	進出拠点(警察) 広域物資輸送拠点	防災拠点自動車駐車場制度を活用した活動スペースの確保が必要	②③
体制(ソフト)	雪寒基地	除雪機械の車庫、会議スペース、作業員の詰所が必要	①
	BCP策定	○	
	災害協定	○	
	防災訓練	○	
	感染症対策	○	



(参考)

- ① 防災倉庫(会議室等)・雪寒基地
- ② 広域物資輸送拠点の活動スペース



- ③ 警察庁の進出拠点の活動スペース



ヘリポート

情報提供施設
・休憩施設

至 山梨県

139

至 富士市

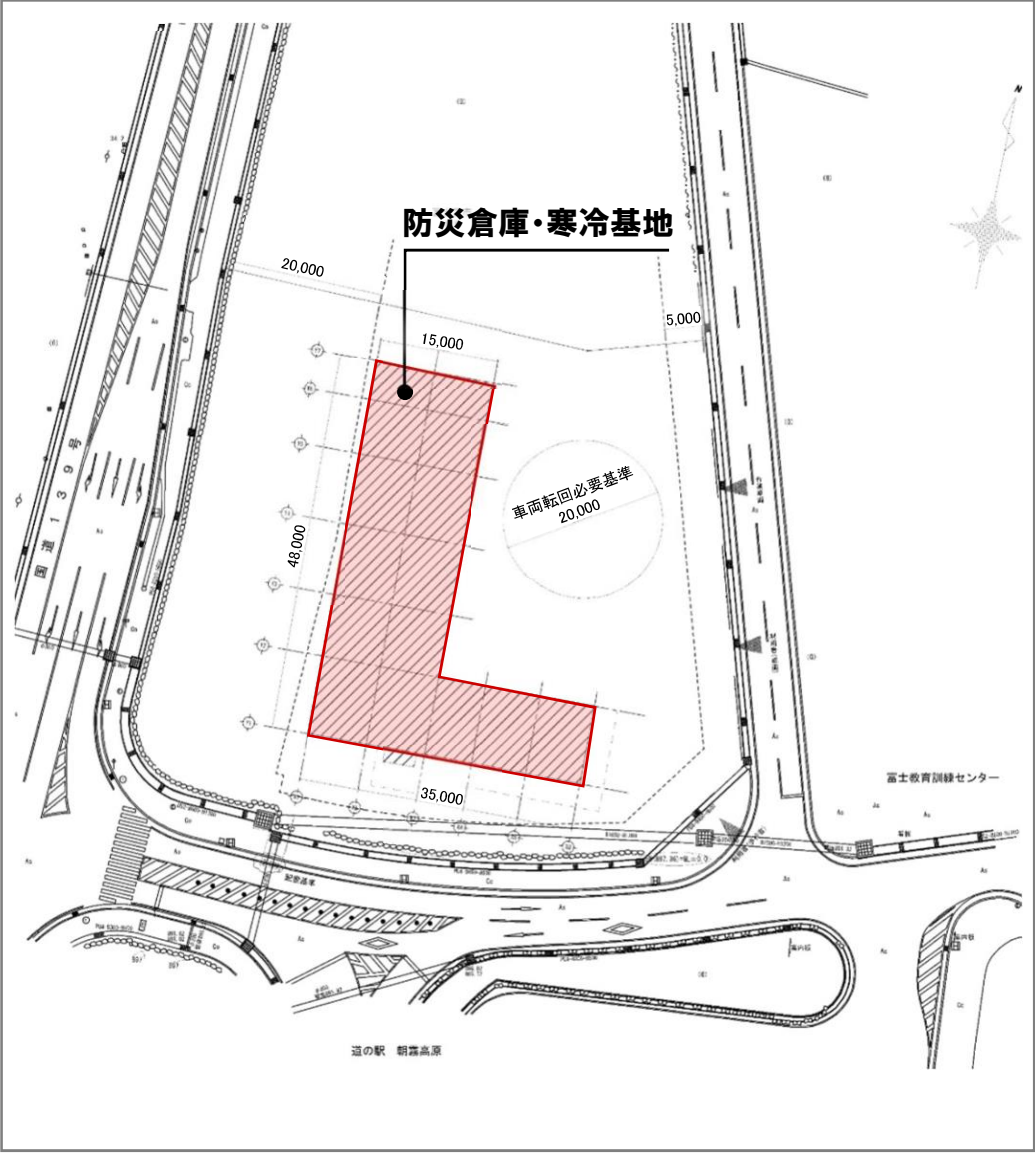
- ④ 非常用自家発電施設

防災倉庫・雪寒基地 の設計状況

■広域図

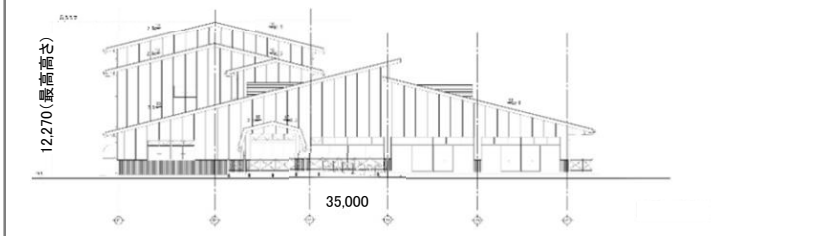


■平面図

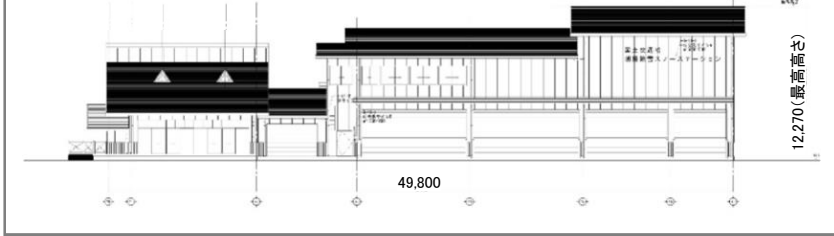


■立面図

<南側立面図>



<東側立面図>



※設計中につき、今後変更あり